

「ウイルス学」の論文詐欺

「ウイルス学者」は
一切何も証明できないがため
常に論文でインチキを行う




政府・医療業界は。。。

- これらのインチキ論文で「証明された」ものとして、中身を精査もせず、「対策」をしていく
- 実際には、上から指示されてるだけ
- 実際には、人々のためではなく、主に製薬会社の利益のため
- 「反ワクチン派」でさえ、これらのインチキに騙されたままの者が多い



インチキ論文の手口

- 論文タイトルおよび概要では、まっとうな仕事をし、いかにも「証明」したかのように記述する
- それしか見ない人間は、簡単に騙される→インチキ論文が良くやる手口。詳細を見ていくと、一切何も証明されていない
- あるいは、リファレンスとして過去論文を参照するが、**その論文でも証明などされていない**のに、「ここで証明済ですね」として話を進めてしまう。




現代の「査読付き論文」は
製薬会社のマーケティングツールに過ぎない

「本当は何があなたを病気にするのか？」下巻より

- 「現実には、政府や企業の資金提供者の影響を排除できないことが証明されており、彼らのバイアスが研究結果に影響することが多い」ランプトン&スタウバー
- 「現在の多くの科学分野において、主張される研究結果は、単に支配的バイアスの正確な尺度にすぎないことが多い」ジョン・ヨアニディス
- 「(医学)ジャーナルは製薬会社の情報ロンダリングの場になってしまった」「**製薬会社にとって、好ましい試験は数千ページの広告に値する**」リチャード・スミス

ゴーストライター&ゴーストマーケティング

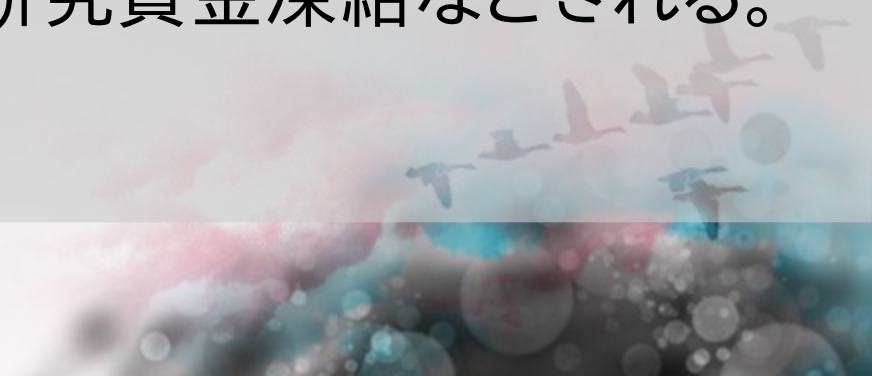
- 「フリーのライターを雇い、これまた雇った医師の署名のもと、査読付きのジャーナルに記事を書かせる」ノーマン・バウマン
- 「科学と医学にはゴーストライティング産業がある」シェルドン・クリムスキー
- 「製薬会社とそのエージェントが、論文の研究、分析、執筆、出版という複数の段階をコントロールし、方向付けしている」「(ゴースト・マネジメントは)製薬業界が医学研究に多大な影響力を持ち、それをマーケティング手段とすること(を可能にしている)」セルジオ・シスモンド



この状態で純粋な科学など
ありうるわけがない

主流派の見解に背くと。。。

- アンドリュー・ウェイクフィールド博士のケース
 - ー ワクチン接種と自閉症の関係を示唆して、医学界・メディアから袋叩きに
- アルパッド・プスタイ博士のケース
 - ー 「GM作物は危険、俺は食べない」と発言して大騒動に。研究所から停職処分、メディアから中傷。
- ピーター・デュースバーグ博士のケース
 - ー HIVはエイズの原因ではないと発言して研究資金凍結などされる。



「現代医学は正しい、ウイルスはある」との前提のもとで巨大経済が動いている

- この経済に組み込まれている者に真実の追求は不可能
- 仮に追求できても、声を出すなど不可能





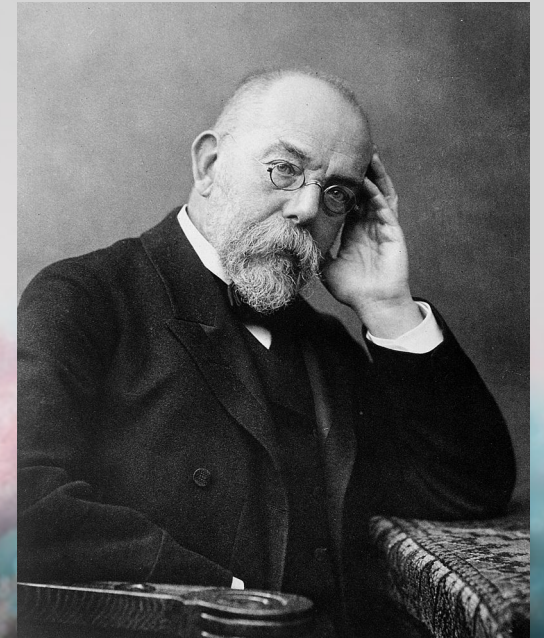
「コッホ原則」の説明

バクテリア・ウイルスが病気を起こすことを
どうやって証明するのか？

ロベルト・コッホ (1843-1910)

によるコッホ原則(1890)


- コッホ原則によって、ある細菌がある病気を起こすことを証明できる
 - － 第一原則
 - 第一基準: 病気を起こす細菌が、その病人全員に発見される
 - 第二基準: その病人でない人には見つからない
 - － 第二原則
 - その細菌を病人から分離できる
 - － 第三原則
 - 細菌を感染させて同じ病気を起こせる
 - － 第四原則
 - 起こした病気から、同じ細菌を取り出せる



「コッホ原則」とは、誰もが納得できる 常識的な考え方に過ぎない

- その病気の人にはその細菌がいるはずだよね？
- 病気でない人には、その細菌はいないんだよね？
- 病気の人から細菌を取り出して、別の人に移せば、その人も同じ病気になるんだよね？
- その病気になった人から、その細菌が(うじゃうじゃと)見つかるんだよね？

これを確認すれば、
「この細菌がこの病気を起こす」と
証明されたことになるよ



コッホ原則が満たされたことは、一度もない

- いかなるバクテリアであれ、病気の原因ではないので、満たされたことはない→満たしたとの主張はすべてウソ
- いかなるウイルスであれ、コッホ原則以前に、そもそも存在自体を証明できなかったことがない
 - 「ウイルスらしきもの」の写真はあるが、実際には何だかわからない。
「××ウイルスの姿」であることを証明した者などいない



人間での実験が倫理的にダメなら。。。。

- 狂犬病の犬のよだれ注射で狂犬になって死ぬ実験は？
 - －聞いたことない
- 鳥インフルエンザで実際に一緒に飼った鳥が死ぬのか？
 - －その実験は？





リバース原則(1937)

どうしてもコッホ原則が満足できないので
ウイルス向けに変えてみました。

リバーズ原則

- 1: 病人からウイルスを分離できること
- 2: 病人の細胞でウイルスを培養できること
- 3: ろ過できること
- 4: ウイルスを他に移すと同じ病気が起こること
- 5: 再度ウイルスを分離できること
- 6: ウイルスに対する特異的免疫反応の検出

リバーズ原則には、「病人にウイルスがいて、健康な人にはいない」という原則が抜けている

リバーズ原則の特にデタラメな点

VIRUSES AND KOCH'S POSTULATES / THOMAS M. RIVERS

- In the first place, it is not obligatory to demonstrate the presence of a virus in every case of the disease produced by it.
 - ー そもそも、ウイルスによって発生したすべての症例において、ウイルスの存在証明は必須ではない。

ウイルスがないなら、何がその病気を起こしたというの？
→「ウイルス学者」はこの論理矛盾を無視してしまう



仮にこの原則を満たしても

- 決定的ではない。100%ではない。ほぼ確信できるという程度



ちなみに、Wikipediaのウソの例

コッホの原則の限界と有効性 [\[編集\]](#)

微生物学の進歩に伴って、コッホの原則では証明できない感染症の存在も明らかになった。

1. ヒトに病気を起こす病原微生物が必ずしも実験動物でも病気を起こすとは限らない
2. 子宮頸癌におけるヒトパピローマウイルスのように、必ずしもすべての臨床例で病原体が検出されない場合がある
3. 日和見感染のように、その微生物が存在しても必ずしも発病しない場合がある

このため現在はコッホの原則をすべて満たす病原体が見つかることの方が却って稀である。

しかしながら、SARSが初めて出現したとき、サルを使った感染実験によって、もう一つの病原体候補であったメタニューモウイルスではなく新種のコロナウイルスがSARSの病原体であることが証明されており、今日においてもコッホの原則が病原体同定に重要な意味を持つことには変わりがない。

「コッホ原則を満たさなくてもいいんだ!ウイルスが発見されなくてもいいんだ!」と強弁する涙ぐましい努力

もちろん、この記述の問題としては。。

- 「ヒトパピローマウイルスの発見」とは何を意味しているのか？
 - － 抗体を見つけたことなのか？
 - － PCR陽性になったことなのか？
- これを書いた人間は「発見など」したことがあるのか？
- 分離もされたことのない代物をどうやって発見するのか？

つまり、この「発見」という記述も「分離」と同じく騙す意図で使用している。



これ以降は、アンドリュー・カウフマンの話より 「コロナウイルス論文のウソ斬る」

brief communications

California 91125, USA
e-mail: djs@gps.caltech.edu

1. <http://www.gps.caltech.edu/faculty/stevenson/coromission>
2. Turcotte, D. L. & Emmerman, S. H. *J. Geophys. Res.* **88**, B91–B96 (1983).
3. Schubert, G., Turcotte, D. L. & Olson, P. Mantle Convection in the Earth and Planets 166–176 (Cambridge Univ. Press, 2001).
4. Weertman, J. *J. Geophys. Res.* **76**, 1171–1183 (1971).
5. <http://www.worldnet.org>
6. Landau, L. D. & Lifshitz, E. M. *Fluid Mechanics* (Pergamon, London, 1959).
7. Anderson, D. L. & Givens, J. *J. Geophys. Res.* **87**, 3893–3904 (1982).
8. <http://www.jlgo.caltech.edu>

Competing financial interests: declared none.


Aetiology

Koch's postulates fulfilled for SARS virus

Severe acute respiratory syndrome (SARS) has recently emerged as a new human disease, resulting globally in 435 deaths from 6,234 probable cases (as of 3 May 2003). Here we provide proof from experimental infection of cynomolgus macaques (*Macaca fascicularis*) that the

the World Health Organization's definition of SARS[®] in Hong Kong, 86 (90%) yielded laboratory evidence of SCV infection.

We have tested for the three remaining criteria: production of comparable disease in the original host species or a related one, re-isolation of the virus, and detection of a specific immune response to the virus. We inoculated two macaques with Vero-cell-cultured SCV isolated from a fatal SARS case, and monitored their clinical signs, virus excretion and antibody response. The





2003年のSARS論文のウソ

SARSウイルスについてコッホ原則を満たした！

- <https://www.nature.com/articles/423240a>

nature

Explore content ▾

About the journal ▾

Publish with us ▾

[nature](#) > [brief communications](#) > article

Brief Communication | [Published: 15 May 2003](#)

Aetiology

Koch's postulates fulfilled for SARS virus

[Ron A. M. Fouchier](#) , [Thijs Kuiken](#), [Martin Schutten](#), [Geert van Amerongen](#), [Gerard J. J. van Doornum](#), [Bernadette G. van den Hoogen](#), [Malik Peiris](#), [Wilina Lim](#), [Klaus Stöhr](#) & [Albert D. M. E. Osterhaus](#)

[Nature](#) **423**, 240 (2003) | [Cite this article](#)

49k Accesses | **608** Citations | **341** Altmetric | [Metrics](#)

Abstract

Severe acute respiratory syndrome (SARS) has recently emerged as a new human disease, resulting globally in 435 deaths from 6,234 probable cases (as of 3 May 2003). Here we provide proof from experimental infection of cynomolgus macaques (*Macaca fascicularis*) that the newly discovered SARS-associated coronavirus (SCV) is the aetiological agent of this disease. Our understanding of the aetiology of SARS will expedite the development of diagnostic tests, antiviral therapies and vaccines, and may allow a more concise case definition for this emerging disease.

論文の概要部

- 重症急性呼吸器症候群 (SARS) は最近、新たなヒト疾患として出現し、全世界で6,234例 (2003年5月3日現在)、435人が死亡した。我々は、カニクイザルへの実験的感染から、新たに発見されたSARS関連コロナウイルス (SCV) がこの疾患の原因であると証明した。SARSの病因の解明は、診断検査、抗ウイルス療法、ワクチンの開発を促進し、この新興疾患のより簡潔な症例定義を可能にするであろう。

ウソ、そんな証明はなされてない！

最初からウソ！

- 中身を読むと、コッホ原則ではなく、改変版の「リバース原則」であることがすぐわかる→タイトルの「コッホ原則を満たした」はウソ



「リバーズ原則の最初の3つは 参照論文が証明している」というウソ

- 参照論文
 - Poutanen, S. M. et al. N. Engl. J. Med. (in the press).
 - Drosten, C. et al. N. Engl. J. Med. (in the press).
 - Ksiazek, T. G. et al. N. Engl. J. Med. (in the press).
 - Peiris, J. S. M. et al. Lancet 361, 1319–1325 (2003).
- これらの論文でも実際には、どの一つも証明していない



リバーズの残る3つの基準は？

- 残る基準
 - － 4: ウイルスを他に移すと同じ病気が起こること
 - － 5: 再度ウイルスを分離できること
 - － 6: ウイルスに対する特異的免疫反応の検出
- ウイルスを（真の意味で）分離しておらず、混ぜものを使っているため不明。また、接種した2頭のサルの1頭しか症状発生しなかった。つまり、完全に失敗。
- 再分離をしておらず、遺伝子テストしただけ。



新型コロナ(COVID-19)論文

新型コロナ論文はSARS論文に基づく

- 1. Peng Zhou et al. Discovery of a novel coronavirus associated with the recent pneumonia outbreak in humans and its potential bat origin
- 2. Na Zhu et al. A Novel Coronavirus from Patients with Pneumonia in China, 2019
- 3. Jeong-Min Kim et al. Identification of Coronavirus Isolated from a Patient in Korea with COVID-19
- 4. McMaster University: I study viruses: How our team isolated the new coronavirus to fight the global pandemic (記事)

どれもリバース原則を満たしていない

- 最初の3つの基準を満たした物は無い
- 第4,5基準に取り組んだ物は無い
 - － 宿主において同じ病気を起こせること
 - － その宿主からのウイルスの再分離
- したがって、何も証明されていない

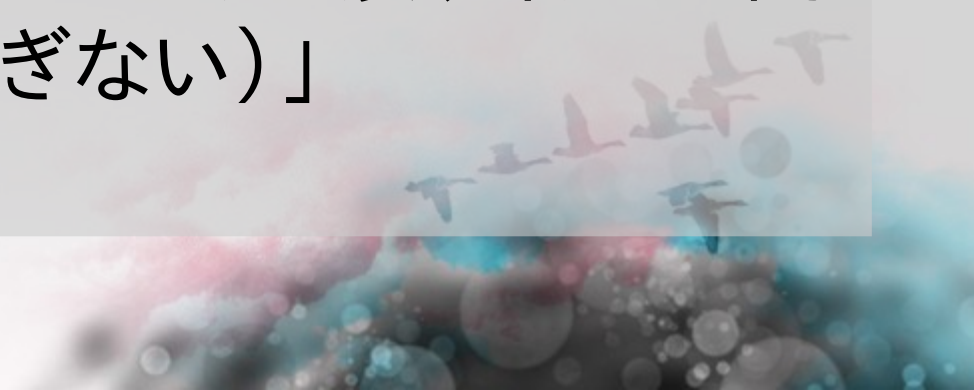


1番目の論文

- Discovery of a novel coronavirus associated with the recent pneumonia outbreak in humans and its potential bat origin
- 何も分離してない。遺伝子を得ただけ
- 宿主細胞での増殖ではなく、ベロ細胞
- る過性を証明してない
- 著者は認める「この研究では、病気とウイルスの関連性を証明している（因果関係ではない）。原因であるかを確認するために、緊急に、より多くのデータとサンプルが必要だ」

2番目の論文

- A Novel Coronavirus from Patients with Pneumonia in China, 2019
- 何も分離しておらず、遺伝子を得ただけ。宿主細胞での増殖ではなく、肺がん細胞。ろ過性の証明なし。
- 著者は認める「コッホ原則を満たしていないが、武漢流行との関連性を暗示している（予備的発見にすぎない）」



3番目の論文

- Identification of Coronavirus Isolated from a Patient in Korea with COVID-19
- 何も分離しておらず、遺伝子を得ただけ。宿主細胞での増殖ではなく、ベロ細胞。ろ過性の証明なし。



この論文の概要にはおかしなことが。。。

- Following reports of patients with unexplained pneumonia at the end of December 2019 in Wuhan, China, the causative agent was identified as coronavirus (SARS-CoV-2), and the 2019 novel coronavirus disease was named COVID-19 by the World Health Organization.
- 2019年12月末に中国武漢で原因不明の肺炎を起こした患者の報告を受けて、**原因病原体はコロナウイルス (SARS-CoV-2) と特定された**。そして、2019年の新型コロナウイルス疾患は世界保健機関によりCOVID-19と命名された。

その論拠とする参照論文は

- Paraskevis D et al. Full-genome evolutionary analysis of the novel corona virus (2019-nCoV) rejects the hypothesis of emergence as a result of a recent recombination event
- ウイルスの遺伝子配列を決め、他のウイルスと比較する研究であって、ウイルスの分離や特定の研究ではない。つまり、原因であることを何も証明できていない。
何の証拠にもならない論文を参照し、
「ここで証明されてるでしょ」と断言する手口

4番目の記事

- I study viruses: How our team isolated the new coronavirus to fight the global pandemic
- 分離してない。宿主細胞での増殖なし。



重大なウソが

- The emergence of a new coronavirus in a market in Wuhan, China, in December 2019 set in motion the pandemic we are now witnessing in 160 countries around the world.
- 「2019年12月、中国・武漢の市場で新型コロナウイルスが出現したことで、今現在世界160カ国でのパンデミックを我々は目撃している」



トンデモの進化

- 何の裏付けも示されずに「このウイルスがパンデミックの原因」と、途方もない主張がされていく
- 実際の研究は「関連・暗示」という結論、それが。。。
 - －「原因物質である」
 - －「パンデミックを起こした」
 - －に変化している



一切何も証明していない

- コッホ原則どころか、リバーズ原則の6つのうち、満たされているのは、最も重要性の低い「特異的免疫反応」のみ。

